

壬生町消防団通信 	纏 ま と い		発行 NO, 15 令和 6年 8月 壬生町役場総務課 消防防災係発行(不定) お問い合わせ 81-1808
	記事 「防災の日って何」？ 子どもに聞かれたら	特集 自動車運転免許 3.5トン 問題	

「防災の日って何」？

私たちの生活の中で1番起こってほしくないのは、自然災害です。自然災害はいつ起こるか分かりません。

分からないからこそ事前の準備が必要なんです。

※では、質問です。

防災の日って詳しく説明できますか？
そして子供たちに分かるように伝える
自信がありますか？



防災の日は、9月1日です。

災害がもたらした被害を忘れないようにと、この日が制定されました。

※どんな理由で決めたのか

防災の日は、昭和35年（1960年）6月11日の閣議で、9月1日を防災の日とすることが了解されたことに始まります。9月1日を防災の日とした経緯は、9月1日は、関東大震災が発生した日でもあるとともに、暦の上では二百十日に当たり、台風シーズンを迎える時期でもあり、また、昭和34年9月26日の「伊勢湾台風」によって戦後最大の被害（全半壊・流失家屋15万3893戸、浸水家屋36万3611戸、死者4,700人、行方不明者401人、負傷者3万8917人）を被ったことが契機となって、地震や風水害等に対する心構え等を育成するため、防災の日が創設されました。

※関東大震災とは

大正12年（1923年）9月1日、午前11時58分、相模湾北西部を震源地として、マグニチュード7.9、最大震度7の大規模地震が発生しました。

主な被害都市は …… 神奈川、東京、千葉、
被害状況は …… 家屋倒壊、津波、火災
死者、行方不明者 …… 10万5385人



※伊勢湾台風とは

昭和34年（1959年）9月21日～26日、和歌山県潮岬に上陸した台風15。
最低気圧895 hPa、最大風速75 m/s、被害は中国地方他39都道府県に及びました

被害状況は …… 家屋全半壊、床上・床下浸水

死者、行方不明者 …… 5101人

負傷者 …… 3万8917人

犠牲者の83パーセントは高潮によるものでした。

3.55mの観測史上最大の高潮が警戒心の全く無い市街地に流れこんだ事も被害の大きさの原因となりました。



この被害の重大さから、防災の日が制定されたことを伝えましょう。

子供たちに話すには

- 自分が経験した災害のことを含めて伝える。
（東日本大震災、令和元年豪雨災害など）
- 命を守るための防災訓練だということを強調する。
- 防災用品は命を守る重要な備蓄品です。
（定期的に、内容を家族で確認しましょう。）

予期せぬ自然災害に、人は何もできず誰も助けられず、歯がゆいばかり。

ただ、国、町の支援ばかりを頼るのではなく、私たちができる事をやらなければなりません。

家族、近所の人はもちろん知らない人でも手を差し伸べる、そんなあなたの優しさが重要です。

不思議なことに、目立つ震災がないと災害のことなど忘れてしまいがちです。

防災用品や避難経路についても防災の日以外でも家族と話し合うようにしましょう。

さらに、この防災の日は大切な日です。

子供たちに伝え、いざというときにみんなで協力できるようにすることが大切です。

消防自動車の運転が出来ない？

準中型自動車免許について

平成29年3月12日から、準中型免許制度が施行されました。

道路交通法の一部改正により、自動車の種類として準中型自動車（車両総重量3.5トン以上7.5トン未満）が設けられ、これに対応する免許の種類として準中型自動車免許（以下「準中型免許」という）が新設されました。

この準中型免許制度により、壬生町消防団の使用している車両が3.5トン以上の車両のため、新団員の中には、この運転免許制度により消防団車両の運転が出来ない団員が今後増加することが懸念されます。そこで、壬生町では準中型免許の取得に必要な経費として16万円を上限に補助する制度が今年度より始まりました。

この制度により消防自動車の運転が出来ないため、出動が遅れるようなことが無いようになり、住民の安全安心につながります。

免許の区分	普通自動車	準中型自動車	中型自動車	大型自動車
受験資格	18歳以上	18歳以上	20歳以上 普通免許保有2年以上	21歳以上 普通免許保有3年以上
車両総重量	3.5トン未満	3.5トン以上 7.5トン未満	7.5トン以上 11トン未満	11トン以上
最大積載量	2トン未満	2トン以上 4.5トン未満	4.5トン以上 6.5トン未満	6.5トン以上
乗車定員	10人以下	10人以下	11人以上 29人以下	30人以上



迅速な出動で、火災の拡大を防止し住人の生命身体及び財産を守るためにも、消防団員の準中型運転免許取得を推進します。



我が町の消防団

訓練の様子



新団員訓練（規律訓練）



出水に備えて、新団員による土のう袋作成訓練



自然水利からの吸水訓練



壬生消防署員による放水技術の指導



ポンプ操法訓練（仕事が終わって疲れているなか、真剣に訓練しています。）



消防団は、消火技術の向上のため、様々な消防訓練を行っています。

消防防災係（新職員の紹介）

得 能 蒼 人（とくのう あおと）



出身：壬生町内

年齢：22歳（2001年生）

身長：178cm

体重：？

趣味：サッカー、野球観戦（巨人軍）、書道

休日：サッカーサークルで走っています。

新卒採用で、消防防災係に配属になりました。一生懸命頑張りますので、よろしくお願いいたします。役場にお越しの際は気軽に声をかけてください。

消防団サポート事業（消防団員応援の店）



現在、消防団員応援の店に登録しているお店は26件ですが、今後さらに協力店が増えるよう、団員の皆様のご協力よろしくお願いいたします。

また、団員皆様の応援の店のご利用をお願いいたします。

団員皆様が利用することで、地域活性化になりより多くのお店に制度が広がります。

（現在までの登録店）26店舗（R6.8現在）

蕎麦吉本店	居酒屋 まし田	さえぐさ飯店	フォーシーズンズ壬生
らーめん処 鈴乃屋	（有）愛輪（整備）	清 華 楼	あいケアステーション
河野辺昼店	一 心 亭	田舎菓子処 増田屋	中川正二商店
ダンディ・ライアン	時遊館 ナカザト	ほしいも王国戸崎農園	農家そば処 蕎香
お茶とお惣菜のパオ	ストロベリーファーム	割烹 山水亭	ダイニング ポン太
ホルモン屋 壺亭	マミーポットみぶ	（株）壬生自動車学校	ときめきステーション
ケンズ バー	（株）フジカンパニー		
各お店のサポート内容は、ホームページをご覧ください。			

（登録方法）

壬生町消防団サポート事業所登録申請書に、必要事項をご記入のうえ壬生町役場消防防災係まで持参するか、郵送してください。

登録申請書は、壬生町役場消防防災係に来ていただくか、又は壬生町ホームページ、（安全安心）壬生町消防団専用ページからダウンロードできます、

また、登録店の検索は、壬生町ホームページ又は壬生町消防団応援の店で検索できます。

消防団サポート事業（消防団協力事業所）

消防団協力事業所は、消防団活動に協力していただいている事業所で、地域に対する社会貢献及び社会責任を果たしていると認められ、事業所の協力を通じて地域防災体制が一層充実されることを目的とした制度です。

（現在までの登録事業所） 47 事業所 （R6.8 現在）

大橋建設（株）	旭化成カラーテック （株） 壬生工場	下野農業協同組合	（有）篠原造園土木
（株）セーフ	戸崎花園	河野邊畳店	（株） T P A
（株）アーレスティ 栃木	（株）足利銀行 壬生支店	日産自動車（株） 栃木工場	（株） S U B A R U 航空宇宙カンパニー
（株）鈴木造園土木	（株）ジョイフル本田 宇都宮店	社会福祉法人 星風会	G K Nドライブライン ジャパン（株）
獨協医科大学	ビー・ブラウンエース クラブ（株）	大垣農園	橋本さく泉（有）
（有）阿彦板金工業	（株）アドジャパン	クレハ合繊（株）	（株）ムトウユニパック 栃木工場
レンタ建機（有）	株式会社 水井	株式会社 まるつね	あいケアステーション 六美
（有）角田金型製作所	住化プラスチック 株式会社 栃木工場	有限会社 和光工業	大関工業
株式会社 改伸工業 栃木工場	北関東総合警備保障 株式会社	社会福祉法人 壬生町社会福祉協議会	株式会社 北 研
吉葉農園	株式会社 アクトリー	社会福祉法人 せせらぎ会	セントラル石油瓦斯 株式会社 壬生営業所
有限会社 山川建設	有限会社 町田建設	大淵工業 株式会社	藤工業 有限会社
稲葉建設 株式会社	株式会社 ヤマケ	社会福祉法人 共育会 メリーランド保育園	

（登録方法）

壬生町消防団サポート事業所登録申請書に、必要事項をご記入のうえ壬生町役場消防防災係まで持参するか、郵送してください。

登録申請書は、壬生町役場消防防災係に来ていただくか、又は壬生町ホームページ、（安全安心）壬生町消防団専用ページからダウンロードできます、

また、登録事業所の検索は、壬生町ホームページ又は壬生町消防団協力事業所で検索できます。

壬生町消防団員募集

☆壬生町消防団について☆

！自分の仕事を持ちながらも、災害に立ち向かう、史上最強のボランティア集団です！
壬生・稲葉・犬飼地区ごとに第1・第2・第3分団、さらに各分団は地域ごとに5部にわかれ、総員数203名3分団15部の構成となっています。構成・各部についての詳細は壬生町消防団HPで！

また、消防団入団については、常時受付しています。詳細は壬生町役場総務課消防防災係までご連絡してください。

☆消防団の主な活動について☆

- ① 火災・災害対応 町内における火災や風水害等による災害時に出動します。
- ② 訓練・点検 災害対応訓練や消防ポンプの訓練や消防点検があります。
- ③ 警備・広報 火災予防広報や地域の行事における防火警備等があります。

※その他、各部毎に月2～3回程度、消防車・水利等の点検があります。

☆報酬・福利厚生について☆

- ◎団員報酬（年額） 部長 100,000 円／班長 80,000 円／団員 65,000 円
- ◎出動報酬（1回につき） 1,500 円（1回の出動が4時間まで）
3,000 円（1回の出動が4時間～7時間45分まで）
8,000 円（1回の出動が7時間45分～）
- ◎消防個人年金制度 団員の方だけが入ることのできる個人年金で、退団後も継続可能。
- ◎消防賞じゅつ金制度 消防業務時、死亡又は障害の状態になった場合、賞じゅつ金が授与される。
- ◎消防団員福祉共済制度 災害現場へ出場途中又は、訓練中の不慮の事故の場合支給される。
- ◎消防団応援の店制度 町内の消防団応援の店において、様々なサービスが受けられる。
- ◎準中型免許の取得に必要な経費として16万円を上限に補助する制度が始まりました。

お問い合わせ先

〒321-0292

壬生町大字壬生甲 3841 番地 1

壬生町役場総務課消防防災係

TEL 0282-81-1808

FAX 0282-82-8262